

ご意見に対する回答 【海技教育機構】

件名：新財務会計システムの導入等業務

以下のとおり、回答いたします。（総件数25件）（意見公募期間：令和7年8月4日～令和7年8月25日）

対象資料名	頁	項目	意見	理由	回答
1 調達仕様書	1	1. 調達案件の概要 (2) 調達の背景	「予算管理の徹底、予算決算分析の高度化」のための予算決算の分析について、どのように運用対処しているか、改善すべき課題、また具体的な機能要件をご教示いただきたい。	現在の運用対処方法を、システム化するための検討のため。	現状、予算・決算分析について現行システムでは対処できていないため、対処できるように改善が必要だと考えています。具体的な機能要件については機能要件一覧を参照してください。
2 調達仕様書	2	1. 調達案件の概要 (6) 作業スケジュール 表1 作業スケジュール(案)	作業スケジュールの詳細については貴機構のご要件を満たす形で各社提案内容とさせていただきます、必ずしも左記スケジュール(案)にある各項目の開始時期を遵守する必要はない認識でよろしいでしょうか。	作業スケジュールの検討および見積りに影響があるため。	スケジュールについては、提案において柔軟に変更することも可能です。ただし、最終納期については遵守してください。
3 調達仕様書	2	1. 調達案件の概要 (6) 作業スケジュール 表1 作業スケジュール(案)	貴機構の環境と接続できる時期等、貴機構のスケジュールとして前提条件があれば明記をお願いします。	作業スケジュールの検討および見積りに影響があるため。	令和8年11月以降を当機構へのシステム設定期間と考えております。
4 調達仕様書	3	4. 作業の実施内容 (4) 運用テスト・研修 ①受注者は、業務アプリケーション開発・テスト終了後、各拠点において運用テストと担当職員への操作等の説明・研修等を行うこと。なお、担当職員への研修等は、以下の拠点において勤務する職員に対して実施すること（リモート実施でも可）。	「各拠点において」の表現を削除いただくことをご提案します。 運用テストとして、各拠点で実施は必須ではないと考えており、実施方法としてコスト効率をふまえた幅広い提案を可能とするためです。	要件を明確にするため。	ご意見を踏まえ、仕様書に「原則として」を追加いたしました。追加したことにより、各拠点での運用テストの実施は原則としつつも、システムの稼働上問題なければ、各拠点での運用テストは実施せずともよいことといたします。
5 調達仕様書	4	4. 作業の実施内容 (5) データ移行	以下の文を追記することを提案する。 「クレンジングやデータの移行変換については、受注者の作業とすること。」 「受注者は、本仕様書に示す業務を実施するにあたり、現行の財務会計システムの受注者やハードウェアベンダなどのステークホルダと常に密接な連絡を取り、業務を完遂すること。」	移行の受注者におけるスコープを明確化するとともに、移行業務は複数の業者と連携する必要があり、貴機構にとって、負荷の高い業務のため、左記文を記載することによって貴機構の負担を軽減することを目的とするため。	データ移行の方法については提案内容に含まれており、提案書にて判断したいと考えているため、原案のとおりとさせていただきます。
6 調達仕様書	6	4. 作業の実施内容 (12) 契約終了時の引継ぎ等	「次システムへデータ移行を行うための作業範囲や費用は当機構と協議する」旨の記載をご検討ください。	データ移行に関する費用は作業範囲、作業量に応じて変動することから、現時点では費用算出は困難なため、別途作業発生時に費用算定、協議必要と考えております。	ご意見を踏まえ、変更案のとおり修正いたしました。
7 調達仕様書	12	5. 作業実施体制 (2) 作業要員に求める資格等の要件 実施責任者（PM） ア、実施責任者は、官公庁（国、独立行政法人、地方公共団体等）向けの基幹業務システム（会計システム、人事給与システム、勤怠システム等）の開発及び運用・保守業務を実施責任者として実施した経験を持ち、また、情報システムの構築に係るプロジェクトを管理する立場で3年以上の実務経験を有する者 イ、政府調達協定に定める80万SDR以上の大規模システムの設計・開発の実施責任者としての経験を有すること。	「①実施責任者（PM）」の保有資格として、情報処理技術者試験（プロジェクトマネージャ）またはPMP相当の資格を保有することを追加いただくことをご提案いたします。	プロジェクト管理能力の客観的な指標となるため。	作業実施者の条件については、参入障壁とならないよう、当該業務を実施する上で必要最低限のものとしているため、原案のとおりとさせていただきます。ただし、作業体制については、提案事項となっているため、提案書にて保有資格等を記載いただいた場合には、内容に応じて加対象とさせていただきます。

8	調達仕様書	12	5. 作業実施体制 (2) 作業要員に求める資格等の要件	こちらの記載内容ですと参加事業者が限定されるため、条件等について、緩和をご検討いただきたい。	事業者を広く参加できるようにし、ある程度調達における公平性を担保を意図するため。	本件の条件設定については、会社ではなく、個人の経験等を条件としており、必ずしも事業者を限定することにはならないと考えております。なお、作業実施者の条件については、参入障壁とならないよう、当該業務を実施する上で必要最低限のものとしているため、原案のとおりとさせていただきます。
9	調達仕様書	15	7. 成果物の取扱いに関する事項 (1) 知的財産権の帰属	本文に記載のある「第三者」は、受注者も含む認識であっているか。	SaaS形式のシステムは、受注者のもつ貴重な知的財産であり、基本的には開示や改変を許諾できないと考えるため。	「第三者」に、受注者は含まれません。受注者の知的財産権については、「7. 成果物の取扱いに関する事項 (1) 知的財産権の帰属①」のとおりです。
10	要件定義書	1	1. 機能に関する事項 (2) 機能一覧	以下の文を追記することを提案する。 「現行システムで実装されている機能については、可能な限り機能を実装すること。詳細については、機構と調整を行うこと。」	現行機能で実装されている機能については、次期システムにおいても継続して実装されていたほうが利便性高く利用することができると考えるため。	今回のシステム更新をする上で、当機構として必要と考える機能については、機能要件一覧に記載しておりますので、原案のままとさせていただきます。
11	要件定義書	2	5. 外部インタフェースに関する事項	外部インタフェースにおける認証情報連携の送受信データに「SAML」とあるが、シングルサインオンは必須ではなく、任意項目とし、ID/PWDの入力でも許可してどうか。	財務会計システム市場におけるSaaS形式の中で、SAMLでの連携を取る場合、カスタマイズ等の対応が必要となることが考えられ、費用の低減化や入札参加者を増やすことにつながり得るため。	シングルサインオンについては、当機構のセキュリティ上必須の項目となりますので、原案のままとさせていただきます。
12	要件定義書	4	7. システム方式に関する事項 ⑤ネットワーク	以下のような文章の追記をご検討ください。 当機構の各事業所から財務会計システムに一般インターネット経由でアクセス可能とし、クラウドデータセンターまでの回線は原則当機構契約とする。保守の際は受注者側からクラウドデータセンターまでの回線は受注者が用意し、VPN等でセキュリティを確保すること。		ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたしますが、「VPN等」の部分のみ削除させていただきます。
13	要件定義書	4	8. 規模に関する事項	「年度毎に利用者数が増える可能性があることから、柔軟にライセンス数の変更が可能となる方法を提案すること。」について、ライセンス数が増えた場合に、費用が変動することとなった際には、本調達とは別途で追加契約を交わす認識であっているか。	契約については記載がなく、事前に確認したかったため。	要件定義書「8. 規模に関する事項」に記載されている数を超過してライセンスが必要となった場合には、追加契約を想定しております。
14	要件定義書	5	10. 信頼性に関する事項 (1) 可用性要件	システムの運用時間に対して、保守対応時間（ヘルプデスク対応時間）の要件をご教示いただきたい。	システム運用にかかわる作業について、作業内容・作業ボリュームの確認のため。	保守対応時間については、提案事項となっているため、対応可能な時間を提案書にご記載ください。
15	要件定義書	6	10. 信頼性に関する事項 (2) 完全性要件	「異常な入力や処理を検出し、データの滅失や改変を防止する対策を講ずること。」について「誤った入力や処理を検出し、データの滅失や改変を防止する対策を講ずること。」への要件に修正いただけないでしょうか。	形式不一致や範囲外入力といった「利用者の誤操作」に対するチェックは標準的に備わっておりますが、システム妨害等を目的とした悪意のある異常入力については検知が困難であるため、本要件から修正いただけないかと考えております。	当該内容については、提案事項となっているため、提案書に詳細を記載の上ご提出ください。
16	要件定義書	9	15. 情報セキュリティに関する事項 (1) 情報セキュリティ要件 ⑦アカウント管理 受注者管理範囲における利用者のアクセス権を適切に管理するため、当機構で用意するADおよび多要素認証システムから連携されるIDや認証情報を受け取り、適切に管理できること。	左記の「受注者管理範囲」という記載について、クラウド基盤管理用のアカウントは含まれない表現への変更を意見いたします。 例：「貴機構側の利用者アクセス権を適切に管理するため」等	クラウド基盤の管理に用いるアカウントについては、貴機構のADおよび多要素認証システムとの連携が困難であるため。	ご意見を踏まえ、変更案のとおり修正いたしました。

17	要件定義書	11	1 6. 構成に関する要件 (5) 利用端末の要件	PDFソフトについて、「JUST Government 5」の他にもクラウド連携に強い「Adobe Acrobat」など選択肢を広げる記載にはどうか。	市場にはほかに複数のPDFソフトがあり、より金額面や実用面で優れたソフトがあった場合、ご提案の幅が広がると思われるため。	1 6. 構成に関する要件 (5) 利用端末の要件については、現在当機構で使用しているソフトを記載しておりますので、記載は原案のままとさせていただきます。ただし、現行のソフト以上に効率的にシステム運用が行えるものがある場合には、提案書に記載していただくことで、内容に応じて加算対象とさせていただきます。
18	要件定義書	11	1 6. 構成に関する要件 (5) 利用端末の要件	保障対象とすべきバージョン（範囲）を記載してはどうか。	昨今の端末ソフトウェアのバージョンアップの頻度は高まる傾向にあり、すべてのバージョンで完全性の保障を求められた場合、費用対効果が得られない可能性があるため、保障すべきバージョンを限定する、もしくはどの程度の不整合まで許容されるのか具体的な範囲を示していただけると、より精緻な見積もりをお出しすることができると。	1 6. 構成に関する要件 (5) 利用端末の要件については、現在当機構で使用しているソフトを記載しておりますので、記載は原案のままとさせていただきます。なお、各事業者が対応可能な、保障対象の範囲等については、提案書に記載いただくようお願いいたします。
19	要件定義書	12	1 7. テストに関する事項 3. システムテスト	負荷テストおよび耐久テストは、具体的にどのような手法や手順で実施されることを想定していますでしょうか。	テスト方法等についてはご提案対象と考えておりますが、もし貴機構にて具体的なイメージがあればご教示いただけますと幸いです。	仕様書等に記載されている内容でシステム運用を行って問題が出ないようにテストをしていただくことを想定しています。具体的な方法は受注者にお任せいたします。
20	要件定義書	16	2 1. 運用に関する事項 (1) 定常時対応 (2) ユーザーサポート業務 ウ、利用者からの定型変更対応	定型変更対応とは、どのような作業を想定されているかご教示いただきたい。	システム運用にかかわる作業について、作業内容・作業ボリュームの確認のため。	具体的な作業の想定が難しいため、当該項目は削除いたします。
21	要件定義書	16	2 1. 運用に関する事項 (2) ユーザーサポート業務	ユーザーサポート窓口について受付時間及び受付手段についての記載がありませんがご指定はありませんでしょうか。		保守対応時間については、提案事項となっているため、各受注者毎に対応可能な時間を記載してください。
22	機能要求一覧	1	【共通】 23	ドリルダウン機能による分析はどのような用途で使用するのかご教示いただきたい。	システム運用にかかわる作業について、作業内容・作業ボリュームの確認のため。	特定の集計項目毎に、対象となる振替伝票を照会して詳細な分析を行うことを想定しております。
23	機能要求一覧	4	【共通】 83	以下の文を追記することを提案する。 「個別のカスタマイズについては、必要となった場合には受注者と当機構とで都度協議の上、決定する。」	本調達はSaaS提供のシステムであるため、受注者は費用と機能の最適なバランスを考えて提案する必要があるため。	ご意見を踏まえ、変更案のとおり修正いたしました。
24	機能要求一覧	全体	—	現行システムの機能にある機能が、もしくは新規追加となる機能なのか明示いただきたい。	新規からの構築の場合、システム設計・仕様調整に時間を要すると見込まれ、見積精度を上げるため。	機能要求一覧については、現行システムをベースとして作成をしていないため、原案のままとさせていただきます。
25	機能要求一覧	全体	—	機能要求事項にワークフローに関する記載がありません。例えば、以下の文言で追加をご検討ください。 ・支出（戻入）依頼申請および会計伝票については、原課担当者による起票、原課上長による承認、経理担当による確認といった承認ワークフローを構築できること。 ・ワークフローの承認経路については柔軟に設定可能であること。	ワークフロー機能は必要な機能と推察しておりますが、機能要求事項に記載が無いため、必要機能であれば追記いただきたいと考えております。	提案事項となっているため、提案書に詳細に記載の上ご提出ください。